

検査・輸血細胞治療部

Clinical Laboratory and Transfusion Medicine & Cell Therapy Center

部長（併 教授）	北島 勲	Isao Kitajima
副部長（併 准教授）	仁井見英樹	Hideki Niimi
副部長（講師）	安村 敏	Satoshi Yasumura
医 員	原田 健右	Kenu Harada
臨床検査技師長	野手 良剛	Ryogo Note
副臨床検査技師長	桑原 卓美	Takumi Kuwabara
副臨床検査技師長	横田 綾	Aya Yokota
主任臨床検査技師	川島 猛志	Takeshi Kawashima
主任臨床検査技師	坂本 純子	Junko Sakamoto
主任臨床検査技師	角田 美鈴	Misuzu Kakuda
主任臨床検査技師	道野 淳子	Junko Michino
主任臨床検査技師	細谷 孝子	Takako Hosoya
主任臨床検査技師	多賀由紀子	Yukiko Taga
主任臨床検査技師	上野 智浩	Tomohiro Ueno
臨床検査技師	佐竹伊津子	Itsuko Satake
臨床検査技師	中出 祥代	Sachiyo Nakade
臨床検査技師	森田 未香	Mika Morita
臨床検査技師	片沼 晶子	Akiko Katanuma
臨床検査技師	塩崎 真弓	Mayumi Shiozaki
臨床検査技師	尾川 智美	Tomomi Ogawa
臨床検査技師	成瀬 里恵	Rie Naruse
臨床検査技師	上野 由美	Yumi Ueno
臨床検査技師	田川 寛子	Hiroko Tagawa
臨床検査技師	山岸 奈々	Nana Yamagishi
臨床検査技師	山下 峰	Mine Yamashita
臨床検査技師	関口 敬文	Takafumi Sekiguchi
臨床検査技師	大角 友紀	Yuuki Ogaku
臨床検査技師	大槻 晋也	Shinya Otsuki
臨床検査技師	杉江 和茂	Kazushige Sugie
臨床検査技師	富山 隆介	Ryusuke Tomiyama
臨床検査技師	内山 賢子	Yoshiko Uchiyama
臨床検査技師	吉田 隼太	Hayata Yoshida
臨床検査技師	氏原 康裕	Yasuhiro Ujihara
臨床検査技師	齋藤 晶子	Akiko Saitou
臨床検査技師	梅野 詳子	Syoko Umeno
副看護師長	島 京子	Kyoko Shima

◆ 著 書

- 1) 北島 勲. 臨床検査データブック 2015-2016. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2015. プロトロンビン, プロトロンビンフラグメント (PF1+2), 第V因子, 第VII因子, 第VIII因子, von Willebrand 因子, von Willenrand 因子マルチマー解析, VWF 切断酵素 (ADAMTS13), 第IX因子, 第X因子, 第X I 因子, 第X II 因子, 第X III 因子; p. 378-91.
- 2) 北島 勲. 臨床検査データブック 2015-2016. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2015. 凝固因子インヒビター定性 (クロスミキシング試験), 第VIII因子インヒビター, 第IX因子インヒビター, 組織因子 (組織トロンボプラスチン), 総組織因子経路インヒビター (総 TFPI). アンチトロンビン (AT), トロンビン・アンチトロン

ビン複合体 (TAT) ; p. 391-5.

- 3) 北島 勲. 臨床検査データブック 2015-2016. 黒川 清, 春日正雅, 北村 聖編. 東京: 医学書院; 2015. トロンボモジュリン, プロテイン C, プロテイン S, 組織プラスミノゲンアクチベーター (t-PA), プラスミノゲンアクチベーターインヒビター-1 (PAI-1), t-PA・PAI-1 複合体, プラスミノゲン, $\alpha 2$ -プラスミンインヒビター, プラスミン・ $\alpha 2$ -プラスミンインヒビター複合体 (PIC テスト) ; p. 395-403.
- 4) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. アンジオテンシン 1 変換酵素測定 ; p. 82.
- 5) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. アンチプラスミン検査 ; p. 85.
- 6) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. エラスターゼ 1 測定 ; p. 252.
- 7) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. 凝固因子測定, 凝固因子インヒビター測定 ; p. 558.
- 8) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. 血小板機能検査 ; p. 696.
- 9) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. C1 インアクチベーター ; p. 1187.
- 10) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. 組織プラスミノゲンアクチベーター ; p. 1482.
- 11) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. 第Ⅷ因子様抗原定量 ; p. 1522.
- 12) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. D-ダイマー ; p. 1676.
- 13) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. トロンビン・アンチトロンビン複合体測定 ; p. 1792-3.
- 14) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. フォンウイブルブランド因子定量 ; p. 2125.
- 15) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. フィブリノゲン・フィブリン分解産物測定 ; p. 2114-5.
- 16) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. プラスミノゲン測定 ; p. 2171.
- 17) 北島 勲. 南山堂医学大辞典. 第 20 版. 東京: 南山堂; 2015. プロトロンビンフラグメント 1+2 測定 ; p. 2200.
- 18) 安村 敏, 渡辺明治. 目でみる臨床栄養学 UPDATE. 第 2 版. 医歯薬出版編. 東京: 医歯薬出版; 2015. 肝疾患 (2) - 臨床検査・診断, 肝疾患の分類 ; p. 26-33.

◆ 原 著

- 1) Ichinose A, Souri M, Osaki T, Matsushita T, Urano T, Ieko M, Tamai Y, Ito T, Kawamae K, Yamamoto M, Madoiwa S, Kurosawa H, Ogawa Y, Yatomi Y, Hanafusa N, Kawasugi K, Ishida F, Kitajima I, Asakura H, Hosono N, Mouri H, Kobayashi T, Wada H, Miyata S, Kashiwagi H, Ikeda M, Yukawa M, Higasa S, Hato T, Okamoto K, Okamura T, Uchiba M, Hashiguchi T, Maruyama I. On AH13 Hemorrhagic Acquired Coagulopathies. Inhibitors of Factor XIII/13 in older patients. *Semin Thromb Hemost.* 2014 Sep; 40(6): 704-11. DOI:10.1055/s-0034-1390151. (2014 年未掲載分)
- 2) Ihara H, Hirota K, Miura M, Kitajima I, Yamashita M, Nomura F, Nishumura M, Kamioka K, Onda K, Sunahara S, Suzuki T, Itabashi M, Ishibashi M, Ito S, Ohashi K, Ohta Y, Nobori T, Fujishiro K, Maekawa M, Miyano H, Ando T, Nishumura K, Tsugawa N, Okano T. National Institute of standards and technology SRM972 as a reference material for serum total 25-hydroxyvitamin D measurements. *Int J Anal Bio-Sci.* 2014 Mar 31; 2(1): 1-6. (2014 年未掲載分)
- 3) Nakamura M, Nishikawa M, Komuro I, Kitajima I, Uetsuka Y, Yamagami T, Minamiguchi H, Yoshimatsu R, Tanabe K, Matsuoka N, Kanmuri K, Ogawa H. Apixaban for the Treatment of Japanese Subjects With Acute Venous Thromboembolism (AMPLIFY-J Study). *Circ J.* 2015; 79(6): 1230-6. DOI:10.1253/circj.CJ-15-0195.
- 4) Ueno T, Niimi H, Yoneda N, Yoneda S, Mori M, Tabata H, Minami H, Saito S, Kitajima I. Eukaryote-Made Thermostable DNA Polymerase Enables Rapid PCR-Based Detection of Mycoplasma, Ureaplasma and Other Bacteria in the Amniotic Fluid of Preterm Labor Cases. *PLoS One.* 2015 Jun 4; 10(6): e0129032. DOI:10.1371/journal.pone.0129032.
- 5) Niimi H, Ueno T, Hayashi S, Abe A, Tsurue T, Mori M, Tabata H, Minami H, Goto M, Akiyama M, Yamamoto Y, Saito S, Kitajima I. Melting Temperature Mapping Method: A Novel Method for Rapid Identification of Unknown Pathogenic Microorganisms within Three Hours of Sample Collection. *Sci Rep.* 2015 Jul 28; 5: 12543. DOI:10.1038/srep12543.
- 6) Tajiri K, Kawai K, Minemura M, Yasumura S, Hosokawa A, Kawabe H, Tomizawa G, Sugiyama T. Neutrophil/lymphocyte ratio as a prognostic indicator of hepatic arterial infusion chemotherapy with arterial cisplatin plus continuous 5-fluorouracil. *Hepatol Res.* 2015 Jul; 45(7): 755-63.

◆ 総 説

- 1) 北島 勲. NOACs に対するモニタリングの有用性. *Int Rev Thromb.* 2015 Mar ; 10 (1) : 22-7.
- 2) 北島 勲. NOAC におけるモニタリングの必要性. *日本医事新報.* 2015 Apr ; 4748 : 61-2.
- 3) 仁井見英樹. 血液検体からの起炎菌の直接検出・同定方法の開発 (解説・特集). *化学療法の領域.* 2015 Apr ;

31(Suppl.1) : 1089-97.

- 4) 北島 勲. 高脂血症とこむら返り. 医報とやま. 2015 Apr ; 1620 : 22-3.
- 5) 北島 勲. 経口抗凝固薬使用上の基礎知識. 脳と循環. 2015 May ; 20(2) : 117-21.
- 6) 北島 勲, 木村和美, 草野健吾, 高橋尚彦, 三田村秀雄. 心房細動の抗凝固療法 up-to-date. 医学ジャーナル. 2015 Aug ; 51(8) : 1954-65.
- 7) 和田英夫, 北島 勲. 適切な抗凝固療法/モニター法と希少出血性疾患. 日血栓止血会誌. 2015 Nov ; 26(4) : 480-1.

◆ 学会報告

- 1) Kitajima I. Pharmacological characteristic of Novel oral anticoagulants. The 79th Annual Meeting of the Japanese Circulation Society; 2015 Apr 24; Osaka.
- 2) Nishida K, Sakamoto T, Nakatani Y, Kataoka N, Wada O, Mizumaki K, Kitajima I, Inoue H. Chromogenic anti-factor Xa assay and routin coagulation tests in patients with atrial fibrillation treated with apixaban and rivaroxaban. The 79th Annual Meeting of the Japanese Circulation Society; 2015 Apr 24; Osaka.
- 3) Tajiri K, Kawai K, Minemura M, Yasumura S, Takahara T, Sugiyama T. Neutrophil/lymphocyte ratio does not predict the recurrence after curative treatment with radiofrequency ablation for small hepatocellular carcinoma. The 6th Asia-Pacific Primary Liver Cancer Expert Meeting(APPLE); 2015 Jul 3-5; Osaka.
- 4) 北島 勲. 神経精神遅滞を呈する ATRX 症候群のモデル動物作成による病態解析. 愛媛大学神経セミナー ; 2015 Jan 28 ; 松山.
- 5) 北島 勲. 血栓症診断と治療の進歩. 松山鶴陵会講演会 ; 2015 Jan 28 ; 松山.
- 6) 内山賢子, 北島 勲, 小沢綾佳, 市田路子, 牧本優美, 吉田丈俊, 米田 哲, 斎藤 滋. 当院における胎児診断された 18 トリソミーの合併心奇形と予後. 第 21 回日本胎児心臓病学会学術集会 ; 2015 Feb 13 ; 東京.
- 7) 北島 勲. 血栓止血学からみたトロンビン阻害薬の有用性. BRAIN Protection Core Member Meeting in Owari ; 2015 Feb 23 ; 名古屋.
- 8) 在田幸太郎, 村上 純, 和田暁法, 宮園卓宜, 安村 敏, 杉山敏郎. 抗リン脂質抗体症候群合併 SLE 患者に生じた急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植. 第 37 回日本造血細胞移植学会総会 ; 2015 Mar 5-7 ; 神戸.
- 9) 島 京子, 安村 敏. 当院における 5 年間の自己血貯血状況と貯血前後の Hb 変動の検討. 第 28 回日本自己血輸血学会学術総会 ; 2015 Mar 6-7 ; 東京.
- 10) 横田 綾, 大角友紀, 角田美鈴, 長田拓哉, 塚田一博, 北島 勲. 乳房超音波検査でのみ推測し得た乳房内転移の一例. 第 54 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会, 第 329 回日本臨床化学会東海・北陸支部例会連合大会 ; 2015 Mar 8 ; 名古屋.
- 11) 上野智浩, 仁井見英樹, 米田徳子, 米田 哲, 森 正之, 多葉田誉, 南 浩, 齋藤 滋, 北島 勲. eukaryote-made Taq polymerase を用いた迅速・正確な子宮内感染症起炎菌検出法の構築. 第 54 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会, 第 329 回日本臨床化学会東海・北陸支部例会連合大会 ; 2015 Mar 8 ; 名古屋.
- 12) 田尻和人, 河合健吾, 峯村正実, 安村 敏, 高原照美, 杉山敏郎. 難治性腹水管理におけるトルバプタンの有用性とその効果予測について. 第 51 回日本肝臓学会総会 ; 2015 May 21-22 ; 熊本.
- 13) 河合健吾, 田尻和人, 安村 敏, 峯村正実, 高原照美, 杉山敏郎. DAA 耐性変異を有する HCV ウイルスと IL-28B および IP-10 の関連. 第 51 回日本肝臓学会総会 ; 2015 May 21-22 ; 熊本.
- 14) 北島 勲. 血液凝固検査の最近の話題と検査技術開発. 平成 26 年度日立ハイテクノロジーズ学術講演会 ; 2015 Mar 25 ; ひたちなか.
- 15) 塩崎真弓, 大角友紀, 山岸奈々, 成瀬里恵, 内山賢子, 角田美鈴, 横田 綾, 平井忠信, 市田路子, 井上 博, 芳村直樹, 北島 勲. ファロー四徴症修復術後の妊娠出産例における心エコー図所見について. 第 26 回日本心エコー図学会 ; 2015 Mar 27 ; 北九州.
- 16) 安村 敏, 島 京子, 道野淳子. 適正で安全な自己血輸血推進に向けての医師、看護師、臨床検査技師の協力体制. 第 63 回日本輸血・細胞治療学会総会(シンポジウム) ; 2015 May 28-30 ; 東京.
- 17) 島 京子, 安村 敏. チーム医療としての PBM—看護師の役割と活動—. 第 63 回日本輸血・細胞治療学会総会(シンポジウム) ; 2015 May 28-30 ; 東京.
- 18) 安村 敏. アルブミン治療のエビデンス解析と使用指針策定について. 第 63 回日本輸血・細胞治療学会総会(ランチョンセミナー) ; 2015 May 28-30 ; 東京.
- 19) 富山隆介, 安村 敏, 佐竹伊津子, 中出祥代, 道野淳子, 島 京子. 当院におけるフィブリノゲン製剤の使用状況.

第 63 回日本輸血・細胞治療学会総会；2015 May 28-30；東京。

- 20) 仁井見英樹, 山本善裕, 上野智浩, 齋藤 滋, 北島 勲. Tm mapping 法 (感染症起炎菌迅速同定法) の院内試験運用結果と正確性の評価. 第 89 回日本感染症学会学術講演会；2015 Apr 16；京都.
- 21) 北島 勲. ワリファリンと NOAC, NOAC 間における薬理作用の相違と特徴. 第 37 回日本血栓止血学会学術集会ランチョンセミナー；2015 May 22；甲府.
- 22) 北島 勲. 血栓止血学からみたトロンビン阻害薬の有用性. 浜北抗凝固薬勉強会；2015 Jun 9；浜松.
- 23) 北島 勲. RCPC 検査値の読み方. 研修センターイブニングセミナー；2015 Jun 16；富山.
- 24) 北島 勲. 高感度迅速起炎菌同定と NF- κ B 活性化定量解析法による敗血症検査システム開発. 東北大学薬学研究科薬学セミナー；2015 Jun 29；仙台.
- 25) 仁井見英樹. Tm mapping 法：血液検体からの起炎菌の直接検出・同定方法の開発. 第 27 回臨床微生物迅速診断研究会総会；2015 Jul 4；金沢.
- 26) 田尻和人, 河合健吾, 峯村正実, 安村 敏, 高原照美, 杉山敏郎. 初発肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法後の長期生存に関わる因子の検討. 第 51 回日本肝癌研究会；2015 Jul 23-24；京都.
- 27) 北島 勲. 血栓止血学からみた NOAC の違い. 豊中血栓治療 Network Meeting；2015 Jul 25；豊中.
- 28) 北島 勲. 血栓症における凝固・線溶マーカーの臨床的応用. シスメックスセミナー in さいたま；2015 Aug 29；さいたま.
- 29) 上野智浩, 仁井見英樹, 米田徳子, 米田 哲, 森 正之, 多葉田誉, 南洋, 齋藤 滋, 北島 勲. eukaryote-made Taq polymerase を用いた迅速で正確な子宮感染症起炎菌の検出と切迫早産に及ぼす影響. 第 40 回北陸臨床病理集談会；2015 Sep 12；金沢.
- 30) 山岸奈々, 内山賢子, 宮尾成明, 伊吹圭一郎, 小澤綾佳, 廣野恵一, 市田露子, 北島 勲. 心雑音精査目的の心エコーで発見された左冠動脈肺動脈起始症 (Bland-White-Garland 症候群) の 1 例. 第 40 回北陸臨床病理集談会；2015 Sep 12；金沢.
- 31) 氏原康裕, 関口敬文, 森田美香, 坂本純子, 野手良剛, 山本善裕, 北島 勲. 富山大学附属病院における血液培養の日常業務時間外提出状況とその対応効果の考察. 第 40 回北陸臨床病理集談会；2015 Sep 12；金沢.
- 32) 富山隆介*, 野手良剛, 北島 勲. コアプレスタ 2000 を用いたプロテイン S 測定試薬の検討. 日本臨床検査自動化学会第 47 回大会；2015 Oct 9；横浜.
- 33) 北島 勲. 蛍光相関分光法による転写因子 NF- κ B のハイスループット定量法開発とその臨床応用. 鹿児島大学血管代謝病態セミナー；2015 Oct 13；鹿児島.
- 34) 仁井見英樹. Melting Temperature (Tm) mapping 法：検体採取後 3 時間以内での敗血症起炎菌迅速同定法. 第 58 回日本感染症学会中日本地方会学術集会；2015 Oct 16；奈良.
- 35) 島 京子. 輸血に関わる看護師の役割と活動 (セミナー). 第 22 回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム；2015 Oct 23；軽井沢.
- 36) 上野智浩, 仁井見英樹, 北島 勲. eukaryote-made Taq polymerase を用いた迅速・高感度・正確な子宮内感染症起炎菌検出法の構築. 第 55 回臨床化学年次学術集会；2015 Oct 30；大阪.
- 37) 安村 敏, 島 京子, 道野淳子, 富山隆介, 中出祥代, 佐竹伊津子, 北島 勲. 当院における自己血輸血の現状と課題. 第 33 回日本輸血・細胞治療学会北陸支部例会 (シンポジウム)；2015 Nov 7；富山.
- 38) 島 京子, 安村 敏, 道野淳子, 富山隆介, 中出祥代, 佐竹伊津子, 北島 勲. 自己血輸血における看護師の役割および問題点. 第 33 回日本輸血・細胞治療学会北陸支部例会 (シンポジウム)；2015 Nov 7；富山.
- 39) 佐竹伊津子, 安村 敏, 富山隆介, 中出祥代, 道野淳子, 島 京子, 北島 勲. 当院における自己抗体保有患者への対応. 第 33 回日本輸血・細胞治療学会北陸支部例会；2015 Nov 7；富山.
- 40) 富山隆介*, 安村 敏, 佐竹伊津子, 中出祥代, 道野淳子, 島 京子, 北島 勲. 輸血後に呼吸不全が出現し, TACO が疑われた症例. 第 33 回日本輸血・細胞治療学会北陸支部例会；2015 Nov 7；富山.
- 41) 道野淳子, 安村 敏, 富山隆介, 中出祥代, 佐竹伊津子, 島 京子, 北島 勲. 当院における多血小板血漿 (PRP) 療法に対する当部署での技術協力. 第 33 回日本輸血・細胞治療学会北陸支部例会；2015 Nov 7；富山.
- 42) 長田巧平, 田尻和人, 河合健吾, 宮園卓宜, 峯村正実, 安村 敏, 高原照美, 三輪重治, 杉山敏郎. 黄疸が遷延した薬物性肝障害の 1 例. 日本消化器病学会北陸支部第 121 回例会；2015 Nov 8；金沢.
- 43) 北島 勲. 血液凝固学からみた Xa 阻害薬の有用性. 抗凝固薬の適正使用を考える会；2015 Nov 18；富山.
- 44) 北島 勲. 非ビタミン K 経口抗凝固薬 (NOAC) の薬理作用と臨床検査. 臨床検査医学 Catch up セミナー, 第 62 回日本臨床検査医学会学術集会；2015 Nov 20；岐阜.

- 45) 上野智浩, 仁井見英樹, 米田徳子, 米田 哲, 森 正之, 多葉田誉, 南 洋, 齋藤 滋, 北島 勲. eukaryote-made Taq polymerase を用いた迅速で正確な子宮内感染症起炎菌の検出と切迫早産に及ぼす影響. 第 62 回日本臨床検査医学会学術集会 ; 2015 Nov 20 ; 岐阜.
- 46) 野手良剛, 三村泰彦, 鳴河宗聡, 山本善裕, 北島 勲. 当院における MRSA の分離状況と薬剤感受性の推移. 第 62 回日本臨床検査医学会学術集会 ; 2015 Nov 20 ; 岐阜.
- 47) 峯村正実, 田尻和人, 河合健吾, 島田清太郎, 高木宏明, 安村 敏, 高原照美, 杉山敏郎. B 型慢性肝炎に対する Peg-IFN α 2a 投与症例の検討. 第 41 回日本肝臓学会西部会 ; 2015 Dec 3-4 ; 名古屋.
- 48) 田尻和人, 河合健吾, 峯村正実, 安村 敏, 高原照美, 杉山敏郎. Elastography を用いた肝線維化評価の有用性の検討. 第 41 回日本肝臓学会西部会 ; 2015 Dec 3-4 ; 名古屋.
- 49) 北島 勲. 血液凝固学からみた経口抗凝固薬の薬理作用. CVMW2015 心血管代謝, 第 23 回日本血管生物医学会学術集会, 第 19 回日本心血管内分泌学術総会, 第 32 回国際心臓研究会日本部会, 第 37 回心筋生検研究会連合セミナー ; 2015 Dec 11 ; 神戸.

◆ その他

- 1) 北島 勲. 抗 VWF 自己抗体検出のためのイムノクロマト法に用いる抗原と特異抗体の検索. 厚生労働科学研究難治性疾患等実用化研究事業班会議 (一瀬班) ; 2015 Jan 25 ; 東京.
- 2) 仁井見英樹. 遺伝子検査ビジネス 検査技術の現状と問題点. 臨床化学. 2015 Jan ; 44(1) : 76.
- 3) 安村 敏. アルブミン治療のエビデンス解析と使用指針策定について. 第 18 回福岡県輸血合同委員会 ; 2015 Jan 30 ; 福岡.
- 4) 松井祥子, 高倉一恵, 野口寿恵, 北島 勲. 大学生における麻疹・風疹抗体価の推移. 学園の臨床研究. 2015 Mar ; 14 : 1-4.
- 5) 牧野茂義, 松下 正, 米村雄士, 安村 敏, 紀野修一, 河野武弘, 田中朝志, 松本雅則, 脇坂明美, 日本輸血・細胞治療学会ガイドライン委員会アルブミン製剤の使用指針策定に関するタスクフォース. 科学的根拠に基づいたアルブミン製剤の使用ガイドライン (2015 年 6 月 1 日第 1 版). 日本輸血細胞治療学会誌. 2015 Jun ; 61(3) : 巻末 3-22.
- 6) 松下 正, 松本雅則, 宮田茂樹, 羽藤高明, 紀野修一, 安村 敏, 岡崎 仁. 科学的根拠に基づく輸血ガイドラインの策定等に関する研究 平成 26 年度総括・分担研究報告書 厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業. 名古屋 : 松下 正 ; 2015. 78p.
- 7) 安村 敏. アルブミン治療のエビデンス解析と使用指針策定について. 第 18 回福岡県輸血合同委員会報告書. 2015 Mar : 23-44.
- 8) 安村 敏. 輸血療法の考え方と内科の輸血. 第 14 回学会認定・自己血輸血看護師制度合同研修会 ; 2015 Mar 6 ; 東京.
- 9) 安村 敏. 輸血をめぐる最近の話題. 済生会富山病院輸血療法研修会 ; 2015 Mar 17 ; 富山.
- 10) 安村 敏. アルブミン治療のエビデンス解析と使用指針策定について. 血漿分画製剤フォーラム ; 2015 Mar 26 ; 名古屋.
- 11) 北島 勲. 診療参加型臨床実習実施ガイドライン診療参加型臨床実習における医療安全. 第 1 回富山大学附属病院医療安全講習会 ; 2015 Apr 23 ; 富山.
- 12) 安村 敏. インターフェロンフリーの C 型肝炎治療 間近に迫った HCV の撲滅. 第 29 回肝寿会講演会 ; 2015 Apr 25 ; 富山.
- 13) 安村 敏. アルブミン治療のエビデンス解析と使用指針策定について. 第 1 回急性期輸液管理研究会 ; 2015 Aug 1 ; 東京.
- 14) 仁井見英樹. CHIPS 法 (遺伝子変異スクリーニング法) は遺伝子検査の簡便化・低コスト化に役立つ. 臨床化学. 2015 Oct ; 44(4) : 326.
- 15) 北島 勲. R-CPC 初級レベル. 平成 26 年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会 ; 2015 Mar 15 ; 富山.
- 16) 原田健右. 検査説明の実際、初級レベル. 平成 26 年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会 ; 2015 Mar 15 ; 富山.
- 17) 北島 勲. R-CPC (初級レベル). 平成 27 年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会 ; 2015 Oct 25 ; 富山.
- 18) 原田健右. 検査説明の実際 (初級レベル). 平成 27 年度検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会 ; 2015 Oct 25 ; 富山.

- 19) 北島 勲. 臨床検査精度管理の重要性を再確認しましょう. 臨床検査精度管理調査報告書. 2015 ; 27 : 1.